

# 桜川

第20号

# 市議会だより

平成22年8月1日



SAKURAGAWA

～四季の風景シリーズ No.7～

## お 男の川 (真壁町羽鳥地区)

筑波嶺の  
峯より落つる  
男女の川  
こびぞつもりて  
淵となりける



筑波山の男体山を源にして  
真壁町側へ流れているこの川を「男の川」と呼び、  
女体山を源に流れる「女の川」と合流して「男女川」となります。

## 議会目録

- 5月 7日 議会運営委員会
- 7日 議会全員協議会
- 7日 第2回臨時会
- 18～20日 総務・文教常任委員会合同視察研修  
(兵庫県丹波市・篠山市) P9
- 18～20日 福祉環境常任委員会視察研修  
(兵庫県神戸市) P8
- 18～20日 建設経済常任委員会視察研修  
(岐阜県高山市・石川県金沢市) P9
- 6月 1日 議会全員協議会
- 8日 議会運営委員会
- 8日 議会全員協議会
- 8日 第3回臨時会
- 8日 福祉環境常任委員会
- 10日 議会運営委員会
- 10日 総務常任委員会
- 10日 議会全員協議会
- 15～17日 第2回定例会
- 17日 議会広報特別委員会
- 7月 14日 議会広報特別委員会
- 21日 総務常任委員会
- 21日 文教常任委員会
- 21日 議会広報特別委員会
- 27日 第4回臨時会

## 編集後記

海辺の恋しい今日このごろ、市民の皆さんには「桜川市議会だより」をご覧いただき、深く感謝申し上げます。

我々広報委員会は平成22年2月には議会だよりのさらなる向上を求め、先進地視察を行いました。私もこの2年間広報委員として、公正・公平をモットーにして議会だよりに携わってきました。そして、今回の議会だよりが現広報委員会では最後の議会だよりの発行になり、第3回定例議会からの議会だよりは、新しい広報委員会での発行となります。

新広報委員の方々には今まで培ってきた経験を生かし、より読みやすく、より分かりやすく、より公正・公平な議会だよりの発行に努めていただくとともに、市民の皆さんにも次回号からの議会だよりを一読くださいますようお願いいたします。そして何より、議会活動と議員活動に、さらなる、大いなる注目と期待をしていただきたい。



鈴木好史

## 議会広報特別委員会

- 議長 増田 昇
- 委員長 川那子秀雄 副委員長 鈴木 好史
- 委員 増田 昇 委員 小高 友徳
- 委員 岩見 正純 委員 風野 和視

## 私のメッセージ

### 重伝建指定で「観光の町」発展を



酒寄 誠さん(七十三歳)  
桜川市真壁町羽鳥一七二一

私は、真壁町並み案内ボランティアに入会している一人です。当会の活動の趣旨は、遠く一五〇〇年前、真壁といふ地名の発祥以来、繁栄と幾多の苦難を乗り越えながら、脈々と受け継がれてきた真壁町の伝統ある歴史の探究と、訪れる人たちに四〇〇年前からの城下町の町割り並びに江戸時代の見世蔵、土蔵など一〇四棟の国の登録有形文化財建造物などを一緒に歩きながら説明し、知ってもらおう

ことにあります。桜川市は、すでに真壁地区に伝統的建造物群保存地区制度を導入し、国の重要伝統的建造物群保存地区(重伝建地区)選定を申請してあります。したが、平成二十二年六月二十九日付けで国の選定が決定しました。もちろん茨城県内では初めて、関東でも千葉香取郡佐原、埼玉県川越市川越、群馬県六合村赤沼(現中之条町)に続き四件目になります。真

壁町の「町並みと景観」のすばらしさは前者に勝ることも劣らないと思います。この度の国の選定が起爆剤となり、いやが上にも多くの観光客が押し寄せ、活気ある「観光の町」として生まれ変わるものと期待は膨らみます。当会としてもこれを機会に、さらに規模を充実させ、真壁町のよさを来訪者の皆さんに知らせたいと思います。当会の趣旨に賛同され入会を希望される方がありましたら、この上ない喜びであります。下記まで、多くの方のご連絡をお待ちしております。

連絡先：桜川市教育委員会文化生涯学習課内  
ボランティア事務局まで  
電話：0296-55-1111(内線 3223)

## 『私のメッセージ』の投稿をお待ちしています

応募方法：封書・FAXまたはメールで600字以内  
(氏名・住所・電話番号を記入)  
応募のあて先・お問い合わせは市議会事務局まで  
TEL 0296-75-3111 FAX 0296-75-6633  
〒309-1292 桜川市岩瀬64番地2  
E-mail gikai\_s@city.sakuragawa.lg.jp